

<総評> 今月は応募数も多かったのですが、優秀作品も数多くありました。毎月わたくしはこの総評を十数編内に留めようとするのですが、どうしても外せない作品があり越えてしまいました。喜ばしいことでもありますが、世相の複雑さと変化の激しさも関係するのでしょうか。

人間が死んでゆくとき
冷たくはなるのでしょうかね
やや乱暴に

音無 早矢 埼玉県

——死と生との中有の移行状態のことは、どんなに感覚を研ぎ澄ませても「やや乱暴に」しか感じられない。「冷たくは」の「は」がそのためらいを表している。繊細な作品。

経血が祝われること
わたしではなく
経血が祝われていること

音無 早矢 埼玉県

——初潮を祝うという習俗は、共同体の共有財産として「生物としての女」になったということ。それを生々しく感じる最初の体験だろう。

暗譜の指先で触れる内臓

桜望子 山形県

——身体の記憶として指に叩き込まれる「暗譜」は、音楽の内臓に触れることかも知れない。

心臓が

うすべにいろ

に なるような

恋をはじめたおとうとの顎

さいう 愛知県

—姉にとっての「おとうと」の存在はこれほど繊細なもの。兄にとっての妹とはまた違うよ
うだ。

「好きだ」ってわざと言わない日

もあって春の野原が広がるばかり

小島 涼我 東京都

—初々しく、明るく、暖かい。春の野原そのもののうた。

さざなみの

ざの

てんてんをおいかける

立花ばとん 東京都

—古くは「ささなみ」だった言葉。二つの点はきらめきながら前に後ろに、今に昔にさざ
めく。

一日を船はあおぞら梳る

中矢 温 愛媛県

—周りに何もない広大な海洋なのだろう。だからこそ唯一の存在である船がゆうゆうと
進んでいく。

ヒトの皮膚

されど鱗の

インタリオ

たんころぶ 兵庫県

——ヒトの祖先は脊椎を持つ魚だったという。だから今はなめらかな皮膚も、深く沈んだ陰刻の鱗なのだ。

世界すきだけど表しきれないな

スクリュー見えないけれど波引く

からすまゝ 神奈川県

——世界が好きだという弾む心は近頃珍しい。かき回すスクリューが陽気に自己主張する。

たくさんのミッフィーの口十二月

奎いう子 佐賀県

——×がたくさん並ぶのは約束で埋まった12月のカレンダー。ミッフィーの口と言われると試験のバツテンもなにかうれしくなる言葉の力。

目覚めれば布団に鋳型できており

メキメキ昨日のわれ壊し出る

スズキセーホン 千葉県

——嫌なことがあっても、寝て起きれば朝だ。メキメキが効いている。

鮮やかなカルトの村のなまたまご

マズルカ 山口県 21歳

——信じるという行為はビビッドだがどこか生臭い。カルトであればなおさらに。

兄嫁の自転車借りて走る故郷

大嶋 碧月 兵庫県

——もう立場が変わってしまっている故郷。「兄嫁の自転車」は端的にそれを表して見事。たぶん見えるものも違う。

A I は

シートベルトの着用を求めた

助手席のスイカにも

和泉次郎 新潟県

——本当かどうかは別として、いかにもA Iのしそうなことというところが面白い。

同情の I'm sorry.

私にも使う権利が
あるのでしょうか

涼木 和貴 北海道

——例えば戦死したウクライナ人の家族に日本人である「私」が言えるかという問題。責任の複雑さは世界の複雑さ。

妹がきずついたとき僕もまた

シャーペンの芯折れてたりする

うたた 岡山県

——他人の痛みは分からないというが、兄妹や家族といってもやはり痛みは分からない。

電子回路の

回という字に

吸い込まれ

口の部分に

嵌まった頭

杉本 太 北海道

——アルファベットでなく象形文字もやっぱり識別子か。そうでないならアジア人の逃げ道はある。

発熱をした人だけが知っている

体の中に四季があること

かわなご まい 埼玉県

—身体の内側の感覚は外からの情報では分からない。今年はたくさんの人がそう思ったことだろう。

若さは武器というのなら
老いは楽器とってやろう

楠城 昇馬 東京都

—良い対義語を見つけましたね。

姓名はわたしを強く規定する
圧力鍋のちぢめる時間

井口 可奈 東京都

—確かに現代では姓名は私たちを規定する。しかし、せいぜい圧力鍋と普通の鍋の時間差くらい。いずれ煮えるのは同じ。

テラリウム返事をしてよ

テラリウム

優しく政治を教えたいよ

中原紘 山口県

—テラリウムと政治の取り合わせが発見。この世は一步でも外に出れば政治が必要になるということ。